

学校運営協議会の運営を応援します

～人と人とのつながりづくり・地域づくりを進めます～

市内小中学校で学校運営協議会が本格的にスタートし、2年目を迎えました。冊子『学校を核とした地域づくりはじめの一步』の作成・配付や「学校運営協議会委員の集い」の開催、「学校運営協議会ファシリテーター応援講座」の実施、学校訪問等、関係者の方々に学校運営協議会について少しでもご理解いただき、学校を核とした地域づくりの一助となるよう取り組みを進めています。

【「学校を核とした地域づくりはじめの一步」(冊子)の活用を】

とちぎ市民協働研究会の廣瀬隆人先生にご協力をいただき、次の冊子を作成しました。

「学校を核とした地域づくり」についてご理解いただき、**学校と地域が良縁を結ぶ一助となるよう、学校運営協議会の全委員と日光市内の全教職員の皆様**に配付しました。

内 容

1. 日光市の学校運営協議会（基本的な考え方）
2. 2019（令和元）～2022（令和4）年度の取り組み
3. 2023（令和5）年度の取り組み
4. 学校運営協議会の進め方8か条
5. 一般社団法人とちぎ市民協働研究会資料

ご活用をお願いいたします

学校を核とした地域づくり
はじめの一步
学校運営協議会と地域学校協働活動
～日光市はどのように進めているのか～



2024.4.30
日光市教育委員会
一般社団法人とちぎ市民協働研究会

【「学校運営協議会委員の集い」開催】[7/2日(火)] 昼の部と夜の部の2回開催

7月2日(火)、とちぎ市民協働研究会の廣瀬隆人先生をお招きし、「**学校を核とした地域づくりはじめの一步**」と題し、ご講演をいただきました。冊子の内容についてご講話いただきとともに、参加者の疑問や質問に丁寧に答えいただきました。



～参加者アンケートより～

- ・「人と人をつなぐ」このキーワードをもとに考えると全てがシンプルになり、本質に迫れると思う。人と人がつながることは、人を幸せにする大切な要素だと思う。運営協議会に関われる自分は幸せだと思う。
- ・基本の話、大切なこと、学運協のありがたがよく分かるお話でした。根本的に「地域づくり、人と人とのつながりづくり」であることを理解しました。

事前打ち合わせから今後のテーマを検討・実施の例（小林小・中学校運営協議会）

【第2回に向けた事前打ち合わせ】[6/20(木)17時30分～] 小林中に於いて

※第1回協議会后に次回の打ち合わせを予定していたが、できなかつたためこの日に実施

○ 参加者

会長・副会長・監事（2名）・校長（中学校）・事務局長（中学校教頭）、事務局会計（中学校教務） 同席者：生涯学習課（福田・湯澤）

○ 内容

第2回学校運営協議会の内容について

この小林地区について中学生がどう思っているか、聞きたいけれど、可能ですか？



次回、地域のことを考えるならば、中学生を積極的に参加させたいですね。

【第2回学校運営協議会】[7/24(水)15時30分～] 小林公民館に於いて

テーマ：今の塩野室地区（小林）をどう思うか？

ねらい：学校（生徒）と地域がつながる

参加者：委員・小中学校教職員・生徒会役員（中学校）



アイスブレイクとして、中学校の生徒集会で実施したゲームを行いました

▲ 中学生が学校紹介

▲ 意見交換（各班に1名の中学生）

中学生の感想：先生や地域の人と色々な意見を出し合って楽しかった。これからこういう話し合いをして、小林をよくしていけるようにしたい。

委員の感想：中学生が入ったことはとてもよかった。委員の中に若手の卒業生が入ってもよいと思った。

教職員の感想：あたたかい雰囲気の中で、塩野室地区の魅力をたくさん教えていただきました。とっても素敵な地区ですね。

★終了後に第3回の打ち合わせを、会長・副会長・監事・事務局で実施しました

昨年度からのテーマを継続、発展させている例（大沢小学校運営協議会）

令和4年度：学校運営協議会の試験的・先行導入校

まずは委員同士の関係づくりから

令和5年度：第3回 11/29日（水）：委員さんから次の意見が出された（委員・校長・教頭）

前回「下校」がテーマに取り上げられ、子どもたちに「生きる力」を身につけてほしいという話がありました。「下校」というテーマを「生きる力」の一つと考えると、「生きる力」をテーマに、特に**どのような力を身につけ、どのような子どもになって欲しいかを考えてはどうでしょうか。**



そうですね。そのテーマでやってみましょう。

第4回 2/9日（金）：前回提案されたテーマで実施（委員・校長・教頭・教務・**教諭2名**）【大沢小学校の子どもたちの未来像】

今日は本当に！本当に素晴らしい会になったと思います。全員が子どもたちの未来について、キラキラした目で話し合っている様子が印象的でした。



令和6年度：第1回 6/5日（水）：昨年度4回目のテーマについて考え、**8項目にまとめた内容について先生方とともに考えた**（委員・校長・教頭・教務・**全教職員**）



未来の子どもの姿について、先生方と一緒に考えることができたことは、とても有意義でした。これらをもとに、自分に何ができるか考えたいです。

第2回 9/4日（水）：**それぞれの目ざす子どもの姿に向けて「一歩進めるための」具体策**について協議した（委員・校長・教頭・教務）



第3回 11/29（金）：前回までに考えた「大沢小の子どもたちの未来像とそれを進める具体策」をテーマに**6年生と懇談を予定**

地域の話&グルーピングの工夫 [大桑小学校運営協議会②：7/22日(月)]

自治会長さんと公民館長さんが地域について話されました&グルーピングの工夫

自治会長さん(会長)から豊岡地区のよさや地域が現在抱えている悩みについて、**公民館長さん**からは、豊岡地区まちづくり協議会の基本方針と事業について話がありました。この日は「昔遊びの道具」がグルーピングの手段となり、**けん玉・竹とんぼ・お手玉・ベーゴマ**の4班で進められました。



▲自治会長さん



▲公民館長さん



▲けん玉に挑戦する委員さん

配付資料の工夫&学校と地域の連携について会長さんも説明

[東原中学校運営協議会①：6/7日(金)]

学校のことをより知っていただくために、学校経営方針の重点化構想以外、学校課題や学校行事、部活動加入状況や卒業生の進学先一覧、地域学校協働活動の資料が配布され、学校側と会長さんより、わかりやすく簡潔な説明がありました。**本市の場合、学校運営協議会の委員=地域学校協働本部委員でもあるため、地域と学校の連携活動について共有することはとても大切です。**東原中では、地域連携活動の説明は、教頭先生と地域学校協働活動推進員(地域コーディネーター)でもある会長さんがされていきました。



▲説明を聞く委員さん方

配付資料は既に作成されたものであるため、準備はそんな大変ではありません。また、会長さんは、玄関の生け花ボランティアであり、かつ地域コーディネーターさんでもあるため、学校や地域のことをよく知っていらっしゃいます。学校にもよく来てくださり、頼りになる方です。(教頭)

参加者のつぶやき：本校の名簿には、ふりがながふってあったので、間違えないですみました。



発行：日光市教育委員会事務局生涯学習課

☎ (21) 5182

担当：湯澤・福田

FAX (21) 5185

